

科目コード	A321
授業科目名	国際保健学
授業科目名(英文)	International Health
講義室等	1105
学科	看護学科
対象学年	3年
開講学年	前学期
必修・選択の別	選択
単位数	1
時間数	30
該当ディプロマ	看DP-1、看DP-5
学科	
対象学年	
開講学年	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
担当教員	榎田 尚樹
授業の概要	国際保健をとりまく現状と課題について知り、開発途上国における保健活動、さらに国内における国際保健活動の実際について学ぶ。
授業の到達目標 (学修効果)	1. 途上国及び先進国(日本を含む)の健康問題について説明することができる。 2. 国際保健を取り巻く現状と課題について説明することができる。 3. 国際保健・看護活動の実際について説明することができる。 4. 日本における国際保健活動について説明することができる。
予習復習の所要時間	講義時間30時間(2時間×1コマ×15回)+予習・復習15時間
成績評価方法	レポート(30%)、グループ発表(30%)、小テスト(40%)で60点以上を合格とする。
教科書	毎回資料を配付
参考書	丸井英二、森口育子、季節子「国際看護・国際保健」2012年(弘文堂) 近藤克則「健康格差社会―何が心と健康を蝕むのか」2005年(医学書院)
その他	保健師国家試験受験に必要な科目 学生は非常勤講師の教員に対して積極的に交流・質問することが望まれる。

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R3.4.9	金	V	世界の保健医療の現状と課題	講義	樺田 尚樹		
				予習				
2	R3.4.16	金	V	国際保健の概念	講義	樺田 尚樹		
				復習				
3	R3.4.23	金	V	国際保健活動の歴史と変遷	講義	大澤 絵里	2	
				予習				
4	R3.6.3	木	III	国際保健活動各論 -母子保健対策-	講義	原賀 美紀		
				復習				
5	R3.6.3	木	IV	国際保健活動各論 -FCTCたばこ規制枠組み条約-	講義	樺田 尚樹		
				予習				
6	R3.6.10	木	III	国際保健と災害対応(原子力発電所事故を中心に)	講義	樺田 尚樹		
				復習				
7	R3.6.10	木	IV	国際保健活動の実際 1 アメリカの医療・保健事情	講義	河村 洋子		
				予習				
8	R3.6.17	木	III	国際保健活動の実際 2	講義	JICA関係者	2	
				復習				
9	R3.6.17	木	IV	国際保健活動の実際 3	講義	JICA関係者	2	
				予習				
10	R3.7.1	木	III	国際機関の役割と活動1	講義	中田 光紀	2	
				復習				
11	R3.7.1	木	IV	国際機関の役割と活動2	講義	中田 光紀	2	
				予習				
12	R3.7.8	木	III	JICA現地講義 ~JICA見学と講義~	演習・実習	JICA関係者	2	
				復習				
13	R3.7.8	木	IV	JICA現地講義 ~JICA見学と講義~	演習・実習	JICA関係者	2	
				予習				
14	R3.7.15	木	III	グループ発表・準備	グループワーク・発表	樺田 尚樹		
				復習				
15	R3.7.15	木	IV	グループ発表	グループワーク・発表	樺田 尚樹		
				予習				
				レポート作成				